

精神疾患の最新の知識や 技能を磨くと同時に、 患者さんに対し真摯な姿勢で向き合える 「まっとうな」臨床医でありたい

金沢 徹文 先生

大阪医科薬科大学医学部神経精神医学教室
主任教授

Profile

2000年 大阪医科大学卒業, 同年, 大阪医科大学附属病院一般消化器外科 研修医, 2002年 大阪医科大学附属病院精神神経科入局。2005年 Visiting Fellow at University of California, San Diego, 2010年 大阪医科大学附属病院精神神経科 助教, 2013年 同 講師, 2017年 Principal Fellow with the title of Associate Professor, Department of Psychiatry, The University of Melbourne. Honorary Associate Professor, The Florey Institute of Neuroscience and Mental Health. 2020年4月より大阪医科薬科大学医学部神経精神医学教室 主任教授。



精神科医を天職として

子どもの頃から、両親に「手に職をもて」といわれ続けて育ちました。6人兄弟の5番目で、大学まで進学したのは私だけ。医学部教授としてはちょっと異色かもしれませんね。

医師は、憧れの職業でした。いつの時代、どんなに混乱している社会であっても生命や健康維持は重視さ

れます。それを担う医師は素晴らしい職業だと、今でも思っています。

卒業後、入局したのは消化器外科です。ラグビー部の先輩に誘われたのがきっかけですが、医師として経験を積むなか、自分には精神科医が向いていると考えようになりました。精神疾患は、目に見える病巣があるわけでない、得体の知れない存在です。そこに立ち向かうことや、人の話をじっくり聞くことが好きな私の好奇心が、精神科への転向を後押ししました。